

別添

研究課題名:改良版サポウイルス検出用リアルタイム RT-PCR の反応性の検証

サポウイルスは急性胃腸炎を引き起こす病原因子である。サポウイルスの検出は糞便から抽出した RNA を対象とする RT-PCR 法、リアルタイム RT-PCR 法によって行われている。近年、現在国内外でひろく普及しているリアルタイム RT-PCR 法では検出されないサポウイルス株の存在が明らかになってきた。

本研究では新たに構築した改良版リアルタイム RT-PCR 法が、現在明らかになっている 18 (GI. 1-7, GII. 1-8, GIV. 1, GV. 1, -2) のサポウイルス遺伝子型株すべてを検出できるか反応性を評価することを目的とする。比較として、現在ひろく使用されている 1 種類のリアルタイム RT-PCR 法(従来法)の反応性も同様に評価する。

本研究において、改良版リアルタイム RT-PCR 法の反応性、従来法と比較した有用性を検証できれば、現在よりも高精度なサポウイルスのスクリーニングが可能になる。

#### 4 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項

##### ① 試料・情報の利用目的及び利用方法

サポウイルス検出のための従来法と新たに構築した改良版リアルタイム RT-PCR 法の反応性を検証する目的で国立感染症研究所内でのみ利用する。

##### ② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

糞便から抽出、調製された核酸

##### ③ 利用する者の範囲

国立感染症研究所 ウイルス第二部	岡 智一郎
大阪健康安全基盤研究所	入谷 展弘、山元 誠司
東京都健康安全研究センター	森 功次
千葉県衛生研究所	小川 知子
島根県保健環境科学研究所	辰巳 智香

名古屋市衛生研究所

柴田 伸一郎

熊本県保健環境科学研究所

原田 誠也

台湾 CDC

吳芳姿

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

国立感染症研究所 ウイルス第二部 岡 智一郎